

太陽化学が医療・介護従事者向けWEBセミナー実施 相談・指導における患者コミュニケーション解説

太陽化学は「栄養相談・指導スキルアップ術～患者さんのやる気になるコミュニケーションとは?～」と題するWEBセミナーを開催した。全国の医療・介護現場5000カ所以上で採用される水溶性食物繊維グアールガム分解物「サンファイバー」をはじめ機能性食品の学術情報や、現場レポートを通じて医療・介護従事者を支援するサイト・Taiyo-mediの企画で、札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科の岡本智子准教授により、効果的な栄養相談・指導のあり方が解説された。

岡本准教授は医療・介護従事者による患者コミュニケーションの基本として、受容(じ)・共感によって理解(り)と関心を示してもらい、やる気や行動に繋げた上で期待(き)や要望を伝えるという『じりきの法則』を解説。安心感という土台のもと、患者が信頼と自信を持って主体的に取り組む関係性を築き、「行動を促進させるための個別対応が重要」とした。

その上で指導を聞かなかつたり話がかみ合わない、黙ってしまうなど栄養相談・指導で困る患者のパターンをあげ、「コントロールしようとしてたり自由を奪っていないか、患者の真意をくみとっているか、話すチャンスが先に奪っていないか」などを自問しながら、相手を知ろうとするコミュニケーションの大切さを訴えた。

具体的な取組みとして岡本教授は、自己主張や感情を表出する度合いの強弱ごとに患者特性を4タイプに分け、行動を起こしてもらうための手法を考える姿勢を提示。「相手を理解・尊重し、それぞれを活き活き行動させることが自律性を高める」とするほか、聴覚や言語、視覚、触覚といった人それぞれの学びで優位する感覚を見極め、指導に活かしていくといったアプローチ手法を呼びかけた。

小林製薬 加湿が与える作用について研究・報告 加湿マスク着用が異物排出作用の一助になる可能性確認

小林製薬が行った研究で、加湿マスク着用により鼻・喉の粘膜線毛輸送機能が向上しウイルスなどの異物を体外へ排出する作用の一助となる可能性が確認され、2020年9月17日～10月20日に開催された「JSA/WAO Joint Congress 2020 (第69回日本アレルギー学会学術大会)」に

て報告された。人は呼吸によって空気中のウイルスや細菌、ほこりなども一緒に吸い込んでいるが、それらの異物は一時的に鼻腔や気道に付着するもの、体を守る防御機構によって体外へ排出される。こうした排出作用のひとつが「粘液線毛輸送機能」だが、乾燥が進むとその動きは低下していくことが既に明らかになっている。

健康成人16名(男性9名、女性7名)を対象として気温20℃、湿度40%の環境下で行われた同研究では、鼻孔へ人工甘味料「サッカリン」を投与し喉で甘いと感じるまでの時間(サッカリンタイム)を測定する試験を実施。甘いと感じる時間が短いほど粘液線毛輸送機能の動きが良いとされているなか、コントロール(マスク非着用時)と加湿マスク着用時でサッカリンタイムを比較したところ、加湿マスクの着用が粘液線毛輸送機能向上に寄与することが確認された。

同社では今後も「加湿」が与える作用についての研究を深めるとともに、その成果を社会へ還元していくとしている。



サッカリンタイム短 ⇒ 輸送機能向上

図1: サッカリンテスト

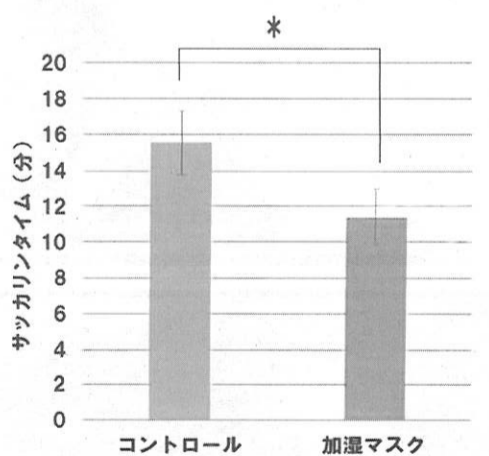


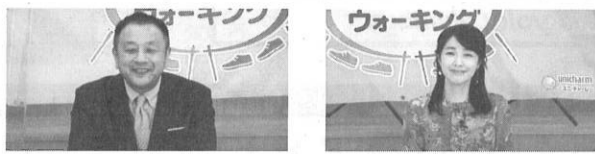
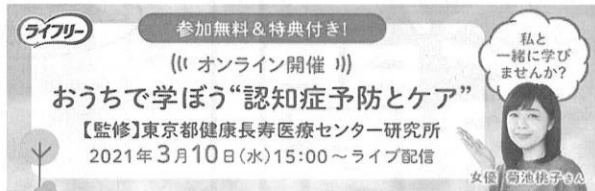
図2: 粘液線毛輸送機能

ユニ・チャーム「ライフリー」オンライン講座初開催 おうちで学ぼう“認知症予防とケア”

ユニ・チャームは先ごろ「おうちで学ぼう“認知症予防とケア”」と題したオンライン講座を開催し、コロナ禍において外出を控えることが多い生活のなか注目されている認知症について、基礎知識やお出かけする際のポイントなどを解説した。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い高齢者にとって外出しにくい状況が続いているなか、長時間の閉じこもりによって認知機能が低下する可能性も危惧されている。尿ケア専用用品として同社が展開する『ライフリー』ではブランド理念として「健康寿命をささえたい」との想いを掲げ、高齢者の閉じこもりゼロを目指して2016年より認知症予防プロジェクトを実施。東京都健康長寿医療センター研究所監修のもと開発された認知症予防プログラム「ソーシャル・ウォーキング」は、これまで参加した人の満足度98.8%にのぼる人気イベントへと成長している。

『ライフリー』CMキャラクターを務める菊池桃子さんをスペシャル



【講師】藤原佳典先生(東京都健康長寿医療センター研究所) / 【スペシャルゲスト】菊池桃子さん(女優)

ゲストに、東京都健康長寿医療センター研究所の藤原佳典先生が講師として登場した今回のオンライン講座には320名が参加した。認知症の基礎知識をはじめ、自分で出来る「認知症チェック」などの紹介を通じて閉じこもりすぎによる認知症リスクについて解説。さらにコロナ禍の外出へ不安のある人が、閉じこもりすぎで感染症に気を付けながら出かける際のポイントなどについてもわかりやすく紹介。藤原先生は「認知症は誰もがなりうる身近なものであり、発症を遅らせ認知症になっても生きがいを持って暮らせる共生社会が重要。認知症予防のカギは社会と関わりながら歩くこと」と訴えた。

今回のオンライン講座についてまとめた動画は、『ライフリー』ブランドサイトにて視聴可能となっている(4月10日まで)。

ケロッグ『オールブラン』新商品記者発表会 安達祐実さんとミルクボーイさんがアレンジ料理やエクササイズを実践

シリアル商品世界シェアトップブランドのケロッグは、発酵性食物繊維が腸内環境を改善する機能性表示食品『オールブラン』シリーズの新たなラインアップである『オールブラン ブランチョコフレック』と、栄養バランスの良さや毎日の主食としても活用できる『ケロッグ オートミール』(4月1日発売)の新商品記者発表会を開催した。

イベントではブランドアンバサダーの女優・安達祐実さんと、公式応援サポーターのお笑いコンビ・ミルクボーイさんがゲストとして参加し、『オールブラン』を使ったアレ

ンジ料理や腸エクササイズを実践。また、発酵性食物繊維が腸内環境を改善することで、心身に様々な良い変化をもたらされる「腸能力」に関するクイズに挑戦し、3人ともに全問正解して見事「腸能力チャレンジャー」認定スカーフと認定証を受け取った。

同社は『オールブラン ブランチョコフレック』を紹介するCM動画「隠せない現実」篇を公式YouTubeで公開しており、4月5日よりテレビCMとして放送を行う。

また、特設サイトにて「腸能力アップチャレンジ」のウェブコンテンツを公開するなど積極的な広告展開を実施しており、コロナ禍で意識が高まる「腸活」をサポートする『オールブラン』シリーズのさらなる認知拡大と販売促進を図っていく。



はじめてですか? 薬局での物販

第1回 広がる調剤薬局での物販とそのメリット 株式会社ラクーンコマース 督永 由紀

いま、調剤薬局でOTC医薬品だけでなく、食品や日用品、雑貨などを販売する店舗が増えています。その背景には、薬価改定の影響や競合との差別化が挙げられます。薬価改定により収益が減る薬局が増え、処方箋調剤だけではこれまで通りの収益確保が難しい状況にあると同時に、年々大手チェーン店舗や、調剤

薬局の機能を有したドラッグストアも増加し、他店舗との差別化が強いられています。このような理由から、調剤薬局でも物販を始め独自の強みを作る動きが広がっています。

物販を取り入れるメリットとしては、処方箋調剤以外の収益確保が挙げられますが、それは新規客の獲得やリピート客の拡大にも繋がります。

実際に地域密着型の店舗では、薬の処方だけでなく患者さんの悩みに合わせて食事の改善提案や、オススメの食品を販売しています。そういった取り組みによって健康管理の相談窓口として地域の患者さんに認識されるようになり、処方箋がなくても買い物だけに立ち寄りが増えているといった事例があります。今後このような動きが広がって

「薬局・医療関連事業者が利用する事業者専用の卸・仕入れサイト『スーパーデリバリー』。衛生用品や食品、日用品、コスメなどを事業者価格(50~60%)で購入できる日本最大級の仕入れサイト」



く中、調剤薬局で物販を始めるにあたってのコツや成功事例をお届けしていきたいと思っています。